

普通科 人文社会科学29班

色彩心理学 -色の印象と人の印象の違い-

班員 片井野 遥海 金丸 桃子
橘 健司

指導者 森脇達哉先生

研究の動機

ファッションやロゴなどは色で印象が変化するので、使用する色やその組み合わせで人からの印象が変化するか、印象操作は可能なのかが気になったから。

研究の目的

色が人に与える印象について調べることで就職活動や会食、成人式などの重要な場面で周りからの印象を操作できるようにするため。

先行研究

単色でのイメージ

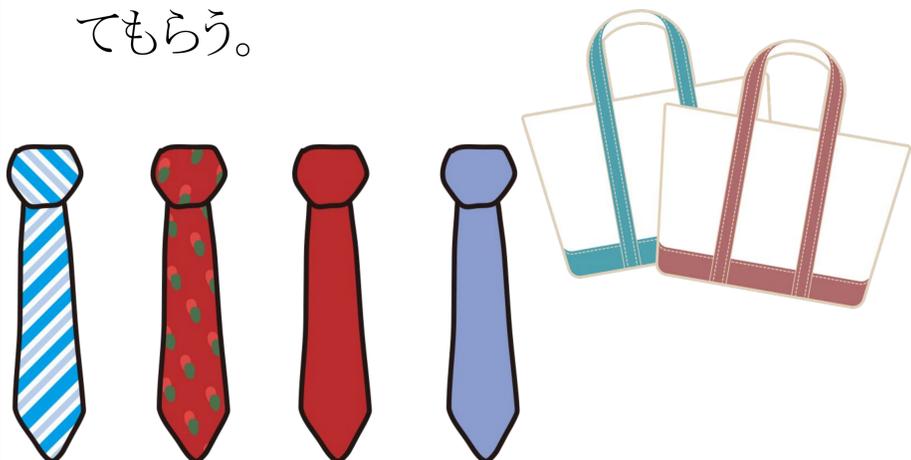
	ポジティブ	ネガティブ
緑	新鮮、若々しさ、安らぎ	保守的、受動的、未熟
青	爽やか、知性、涼しさ	冷たい、憂鬱、孤独
紫	伝統、神秘、高貴	欲求不満、病的、死
ピンク	可愛い、甘い、やわらかい	弱い、不安定、子どもっぽい
茶色	落ち着き、堅実、渋い	地味な、保守的な、田舎っぽい
白	永遠、清潔、神聖	緊張、空虚、頼りない
灰色	都会的、落ち着き、控え目	陰気、不安、曖昧
黒	高級、シック、カッコいい	恐怖、反抗、暗い
赤	躍動的、情熱、活力	げげげしい、危険、派手な
オレンジ	明るい、家庭的、暖かい	低俗な、安っぽい、わがまま
黄	希望、喜び、幸福	幼稚、注意、軽率

研究方法

① 服の組み合わせを1つ決めてそこに小物で差し色を入れる。

② 差し色に入れた色で人からの印象がどのように変わるか調べる。

➤ アンケートで先行研究からわかる色の印象の選択肢を作り、選んでもらう。「その他」の欄を作り自由に印象を書んでもらう。



必要な道具

特になし

仮説

色単体が持つ印象がそれを身につけている人の印象にもつながっているのではないかと。



研究計画

① 服の組み合わせを決めてそこに小物で差し色を入れる。(ネクタイ、カバン、ネイル)
 ② アンケートをとってどの色が一番印象が良いか調べ、研究結果と先行研究を比較する。

4～5月	アンケートを取る (1回目)
6～7月	アンケート結果をまとめる。
夏休み	アンケート結果と先行研究を比較する。
9～10月	比較した結果を踏まえてアンケートを取る。(2回目)
11～12月	すべての結果をまとめて資料を作成する。

参考文献

色が与えるイメージと効果

<https://www.hp-maker.net/magazine/color-image/>

2023.12.08